

釧路南ロータリークラブ会報

第24回 例会報告 2021.1.29 通算1832回

・点 鐘 奈良会長



・会長挨拶



・ロータリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 澤山 理恵会員

・入会記念祝

上川原 昭会員 H23. 2. 4 (10年目)

・結婚祝

森江 洋之会員 H6. 1. 29 (27年目)

みなさんこんにちは。

本年度25回目の会長挨拶をさせていただきます。最初にコロナ感染対策として本日も食事をお弁当に変更させていただき例会時間も短縮させていただきますのでメンバーの皆様にはご理解とご協力をお願い致します。

先週の会員卓話では安藤会員、福井会員、長倉会員より楽しいお話をいただきありがとうございました。長倉会員がスポーツ万能だとは思いませんでした。本日のプログラムは「職業奉仕月間に因んで」となっております。担当委員長の方は後ほど宜しくお願い致します。

ここ一週間でコロナ感染者の増加が気になります。約1年にわたる制約のある暮らしの中、心のどこかで自分は大丈夫、釧路は大丈夫と油断があったのではないかと思います。今一度、一人一人の意識と行動の変化が求められると思います。

また、本日も雪模様ですが天気予報では明日の明け方まで続くとなっております。道路状況も良くありませんので車の運転にはくれぐれも注意をいただきたいと思います。

以上会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

・幹事報告（代読 佐藤真之介副幹事）



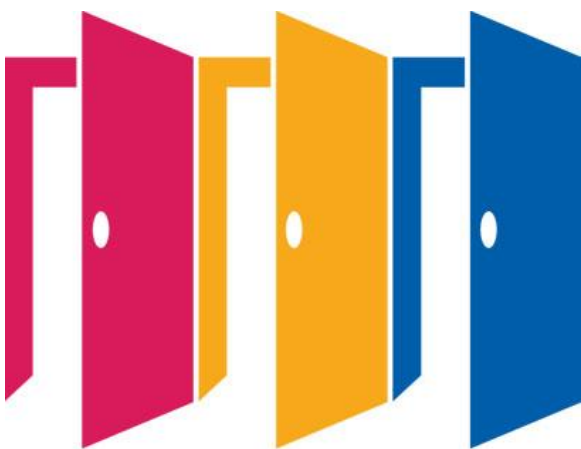
本日、除雪作業要請が入った為、欠席急遽となり大変申し訳ございません。

幹事報告をさせていただきます。

- * 各ロータリークラブ様より2月プログラムと会報が届いております。
- * ロータリーの友2月号が届いております。
- * 2500 地区より弟子屈ロータリークラブ地区補助金事業「極寒芸術祭」のパンフレットが届いております。

ロータリーの友とパンフレットはレターケースに入れてありますのでお帰りの際はお持ち帰りください。

各資料の回覧してしますのでご一読お願いします。



ロータリーは機会の扉を開く

・本日のプログラム

「職業奉仕月間に因んで」

担当 職業奉仕委員会

◆安藤整治委員長



職業奉仕とは何か

職業奉仕の誕生

ロータリーは1905年2月ポールハリスを含む4名の会員で誕生した。

この会合は友人を得るためのロータリー活動でした。初期ロータリーの目的は会員相互の互惠取引、相互扶助と親睦を目的としたものであった。

当時はシカゴでは無法がまかり通る時代でクラブに入会すると金儲けができるとロータリーはお金儲けの手段として発展していきました。

しかし会員の相互扶助、親睦を目的として誕生したロータリーは、これは経済の秩序を乱すものであるという批判を受けてロータリーは方向を大きく転換します。

1910年シカゴにおいて『仲間に最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる』の、その一年後『最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる』と改め、それが職業奉仕、ポスト相互補助としての始まりです。

職業奉仕の本質

ロータリー運動は倫理運動である。

『ロータリー運動は倫理運動である。』の倫理とはなにか、それは人とし、人間としての、正しく歩む道です。人を騙すような、人を泣かせるような行為を

いてはいけない。非人道的、非社会的行為はしてはいけない。世の為人の為に尽くしなさいという教えが『倫理』です。職業社会に適応していくことが『職業倫理』です。

職業奉仕という言葉において職業とはお金を儲けるという意味があります。家族を養い従業員を養わなければなりません。そして奉仕とは自分以外の人に尽くすことです。

職業は自分の物、奉仕は自分以外の人に尽くすことです。これには逆の意味が含まれます。

職業奉仕は難解な言葉ではありますが、『世の為、人の為に奉仕する心をもって職業を営むべし』心を職業の中心に『恥じない心』を、取り入れて活動をして下さいという職業の心と奉仕の心は一つの心という考え方です。

職業奉仕の言葉の意味するところは『人を欺くような、泣かせるような金儲けをしてはいけない。非社会的、非道徳的職業をいとなんではいけない。世の為、人の為に職業を営まなければならない。』とっており言葉の本質は『職業倫理』を差しています。この倫理こそが職業倫理であり、ロータリーは職業倫理を追及する運動なのです。これが『職業奉仕の本質』です。職業奉仕とはいかに顧客が満足して商品やサービスを受けられることが出来るかを考え社会の要求に応じていく過程に職業倫理が存在する。それが職業の奉仕です。

コロナ化においてある商品が品不足になり従来の2倍・3倍で売れるにしても顧客が不幸になるばかりであり、必ず反動があり一時的な利益は消えてしまう。職業倫理に基づく利益こそが永続的に利益を得ることが出来るのです。

例会出席と職業奉仕実践について

例会に出席することが職業奉仕の実践

新入会員の中には何故ロータリークラブは毎週毎週例会を開かなければならないのか。

毎週一回の例会に出席し食事をし、話を聞いて寄付をして帰る。そんな無駄な時間を費やすのならばそ

の時間をボランティア活動に充てる方がよほど世の為になるのではないかという意見を持たれている方がいます。何故、ロータリーは毎週一回の例会を開かなければいけないのかです。ロータリーの第一義は何か、それはロータリアンの心の開発です。では、ロータリアンは何処で倫理を学ぶのか。それは例会です。異業種の有益な職業人の中から選ばれた会員が毎週一回の例会に出席しある時は先生となり、また生徒となり集団で学び合うのです。異業種の有益な人たちと交流を通じてロータリアン自らが心を磨き合うのです。そして、その心を、個人生活、職業社会、地域社会、国際社会で実践するのです。ロータリアンも倫理を勉強するために毎週一回ロータリーという学校に通うのです。例会場は教室であり、会費は授業料です。ロータリアンは毎週例会場へ通い人間のあるべき姿を学び合うのです。例会には一つの大原則があります。それは、『均一的平等の原則』です。たった一人で商売をしている人でも何千人も雇っている大会社の経営者であっても、例会場においては皆平等であるという原則があります。天職と天職との間には価値の相違はないのです。ロータリアン同士が対等の立場に立ってお互いが学び合うのです。ロータリー綱領第2に示されている、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めることがこれです。

例会場は人生の道場であると言っております。即ち職業奉仕の実践とは週一回の例会出席から始まるのです。」

ロータリー資料より



・ 次回のプログラム

2月5日（金）

「 職場訪問例会 ウィンターパーク見学 」

会場 12:30～ANA クラウンプラザホテル釧路

→道立釧路芸術館前庭

担当：クラブ運営委員会

・ 点 鐘 奈良会長

今週の会報担当：安藤整治会員